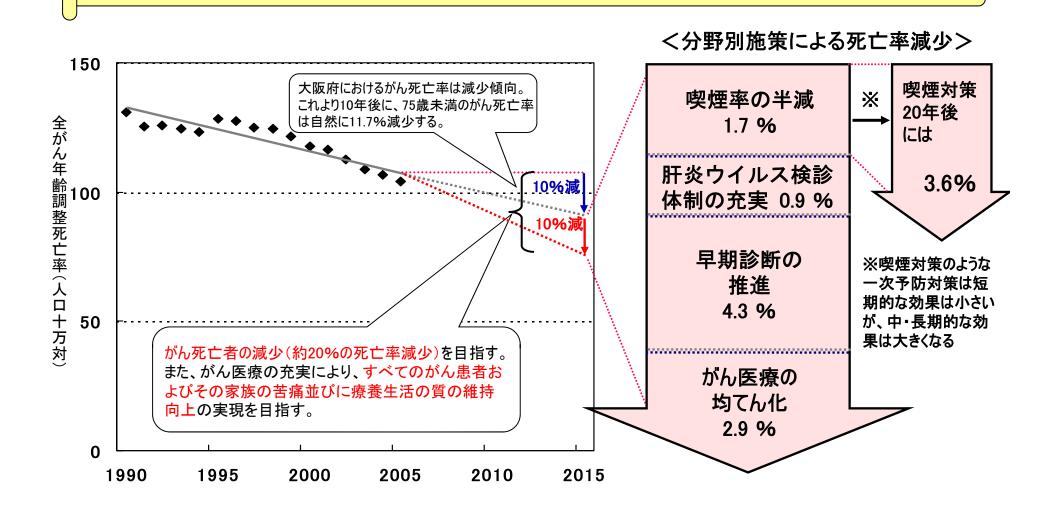
大阪府がん対策推進計画の中間年における4分野の進捗の概要

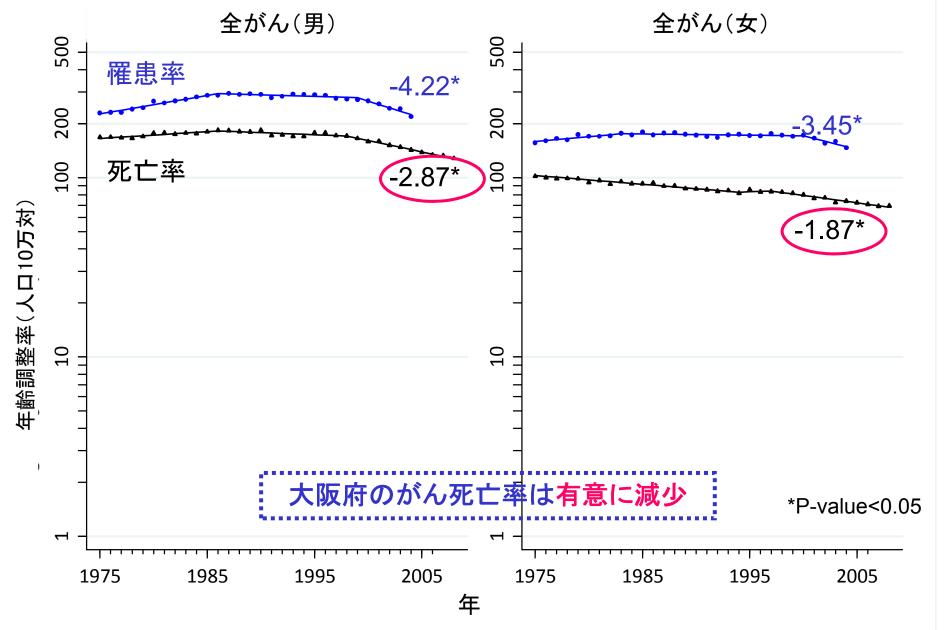
大阪府立成人病センター がん予防情報センター 井岡 亜希子

全体目標を達成するための分野別施策の目標設定と死亡減少効果



資料:13ページ

75歳未満全がん死亡率の減少(大阪府)





がん死亡率の減少(大阪府)

	2005 yr	2008 yr	2015 yr
がん年齢調整死亡率	104.0	97.6	<83.2
(75歳未満)	(100%)	(93.9%)	(<80%)

-2.0%/yr

今後10年間で-20%?



がん死亡率減少にどの部位のがんの死亡率減少が寄与しているか?

部位別死亡率減少の寄与度(男)

199	95-2005	200	5-2008
部位	寄与度%	部位	寄与度%
肝	51.6	肝	50.3
胃	23.8	胃	21.9
肺	8.9	肺	14.3



胃がん、肝がんの死亡率減少に、その罹患 率の減少がどのくらい寄与しているか?

部位別罹患率減少の寄与度

	男		女
部位	寄与度%	部位	寄与度%
肝	80.4	胃	58.8
胃	63.2	肝	75.3
肺	68.5	大腸	_

1)たばこ対策の進捗状況

計画策定時

年齢調整 死亡率

(大阪府、2005年) (人口10万対)

全がん 156.8

肺がん 31.1

喫煙関連癌

(口腔咽頭、 食道、胃、肝臓、 膵臓、喉頭、 肺、子宮、腎、 腎盂/尿管/膀胱 骨髄性白血病)

喫煙率% (2004年) ※1

全国:

成人 男 44.9 女 13.5

未成年

男 5.8 女 24

大阪府: 成人

男 45.7 女 15.2

未成年

8.4 2.5 非喫煙者

喫煙者 ——

1. たばこに関する知識の普及

- ・たばこの健康被害(肺がんなど)に関する知識のある人の%※2 →乳がん・子宮頸がん27.3%~肺がん94.3% 【目標70%】
- ・禁煙に関する正しい知識(禁煙治療/サポート、等)のある人の%]%【目標80%】 →喫煙者の「
- ・妊娠中の喫煙が子供に及ぼす影響について、知識のある人の%※2 →93.5% 【目標100%】
- ・禁煙教育を実施している学校数、全体に占める%
- 一施設
- →全学校の「

]%【目標100%】

2. 禁煙支援プログラム

- 保険適用による禁煙治療提供状況
- →868施設(近畿厚生局届出 2010年7月現在)が実施
- → 府内病院(538施設)21.9%が実施、20.8%が今後実施の予定 (2009年)※2 【目標50%】
- → 国/府指定がん拠点病院60.5%が実施 21.1%が今後実施 の予定(2009年)※2
- 禁煙サポート(情報提供を含む)実施状況 (2009年)※2
- → 府内病院(538施設)の72.4% 【目標100%】

無関心期

(32.5%)

年に5 %移行

関心期 熟考期

3

3

(64.9%)

年に8 %移行

準備期 (2.5%)

(%は住民中の割合※3)

3. 環境・制度面の支援※2

- 官公庁および関連施設の建物内/敷地内禁煙状況(2010年4月1日現在)
- →大阪府本庁舎80.0%、大阪府出先機関88.4%、市町村本庁舎58.1%、 市町村出先機関51.2%が実施 【目標100%】
- 学校の敷地内禁煙状況(2010年4月1日現在)
- →府立学校100%、市立小学校88.7%、市立中学校86.4%、私立小学校76.5%、 私立中学校37.9%、私立高等学校34.7%、大学26.0%が実施 【目標100%】
- 内内医療機関の敷地内禁煙状況(2009年)
- →538施設中197施設が実施、36.6% 【目標100%】
- ・府内飲食店の終日全面禁煙状況(2010年)
- →飲食店17.5%が実施 【目標50%】

喫煙率%

(2007年)※4

全国:

成人 男 39.7 女 12.7 未成年 男 3.8 女 1.7

大阪:

成人 男 39.8 女 13.8 未成年 男 3.8 女 2.5

【目標】

成人 5年後に男30%以下 (10年後に男20%以下) 女 5%以下 未成年者•妊婦0%。

喫煙率低下

男 年率平均 2.0p減※5 女 年率平均 0.5p減

年に25%移行

2+3

禁煙 0 実行•

持続

非喫煙 維持



目

資料:19ページ

肺が h 死亡率減少割合10 年後に 4.1% 全が h 1.7% 20 年後に

中間評価時

年齢調整 死亡率

(大阪府、2009年) (人口10万対)

全がん147.2

肺がん 29.8

(注)肺がん死亡率 減少の原因は、たば こ消費量の少ない 1936-1940年牛ま れの影響であり、今 後、再び肺がん死 亡率が増加する可 能性が高い

8.7% **(全が** h 3.6%

1+3 ※1 厚生労働省 平成16年度国民生活基礎調査 ※2大阪府たばこ対策調査・資料 http://www.pref.osaka.jp/kenkozukuri/tabacco/chousasiryou.html ※3 大阪府健康福祉部 健康大阪21中間評価実態調査(平成17年) ※4 厚生労働省 平成19年度国民生活基礎調査 ※5差の単位を「ポイント」とした

目標達成へのプロセス

プロセス評価

計画策定時

肝がん 年齢調整 死亡率

(大阪府、2005年) (人口10万対)

21.7

HCV検診 累積受診率

(40-69歳)

20%*1

うち、 精検受診率

60% ×2

検診発見 キャリアの 治療完遂率

40% ※2

検診受診率の向上

40-74歳の累積検診率[

1 %

【目標】

5年後に40-74歳の累積検診率50%

目標達成へのプロセス

プロセス評価

·肝炎ウイルス無料検査協力医療機関数 →約4.700施設

- ・市町村で把握した国保加入者の受診率「 1% 【目標50%】
- ・市町村検診でALT異常者のうち、肝炎ウイルス検診の受診率]% 【目標50%】
- ・職域健診でALT異常者のうち、肝炎ウイルス検診の受診率
- 1% 【目標80%】

市町村における要精検者のフォローアップ状況(平成21年度) →C型肝炎:113人、要精検者の32.5% 【目標80%】

B型肝炎:100人、要精検者の26.8% 【目標80%】

- 市町村における継続的なフォローアップの実施率 →要診療者の「]%【目標50%】
- ・市町村の精検未受診者への電話による受診勧奨件数および%]件、精検未受診者の「]% 【目標100%】
- ・市町村の精検未受診者への郵便による受診勧奨件数および%]% 【目標100%】
-]件、精検未受診者の[

治療完遂率の向上

C型肝炎:要診療者の「

B型肝炎:要診療者の[

中間評価時

1 % 肝がん 1 % 年齢調整

> 死亡率 (大阪府、2009年)

> > (人口10万対)

172

(注)死亡率減少の 原因は、C型肝炎ウ イルスキャリアの多い 1931-1935年を中 心とする出生者の 発がん好年齢での 消長と密接に関わっ ていると推測される

精検受診率の向上

精検受診率(平成21年度) C型肝炎:要精検者の32.5%

B型肝炎:要精検者の26.8%

【目標】

5年後に要精検者の80%

【目標】 標準治療の完遂率80%

市町村における治療状況把握率 【目標100%】 →要診療者の「]%【目標100%】

※1 大阪府健康福祉部 健康おおさか21中間評価実態調査

※2 厚生労働省 肝炎等克服緊急対策研究事業 肝がんの発生予防に資するC型肝炎検診の効率的な実施に関する研究班(2003年)

肝

が h 死亡率減 少割 合 10 年後 ĪΞ 6.8% (全が h 死亡率減

少割 合

0.9%

3)早期診断・がん検診の進捗状況

目標達成へのプロセス

プロセス評価

受診率の向上・

検診規模の拡大

限局割合の増加 最良県レベルに

部位別死亡

少率

割合 10.6%

大腸 12.5%

> 肺 4.7%

乳房 3.2%

子宮 12.2%

全がん 死 減 少割合

4.3%

◎適切な治療 (医療の部へ)

計画策定時

(人口10万対)

年齢調整死亡率 (大阪府, 2005年)

全がん 156.8 胃 23.6 大腸 17.9 肺 31.1 乳房 6.5

5.7

38%

がん罹患者の 限局患者割合

子宮

大阪府(2003年) VS 最良県※1

44% 59% 大腸 48% 62%

乳房 57% 61%

24%

子宮 63% 67% (上皮内を含む。) (上皮内17% 36%)

検診受診率※2

冒 (40-69歳)17.9%

大腸(40-69歳)15.2%

肺 (40-74歳)10.8%

乳房(40-69歳)17.9%

子宮(20-69歳)20.3%

科学的根拠に基づいた 効果的ながん検診の実施

がん検診の

- ·「胃X線検査」実施の市町村数 →43市町村【目標43市町村】
- 「大腸便潜血検査」実施の市町村数 →43市町村【目標43市町村】
- •「乳房マンモグラフィ検査」実施の市町村数 →43市町村【目標43市町村】
- 「子宮頸部擦過細胞診」実施の市町村数 →43市町村【目標43市町村】
- 「非喫煙者に対する胸部X線検査」実施の市 町村数
- →43市町村【目標43市町村】
- 「ヘビースモーカーに対する胸部X線検査+喀 痰細胞診 |実施の市町村数
- →43市町村【日標43市町村】
- ・有効性が確認・推奨されていない検診実施 の市町村数 【目標0市町村】
- →超音波検査/視触診単独の乳がん検 診 13市町村

前立腺がん検診 15市町村

- 胃がん検診
- →精検結果把握率 82.7% 【目標90%】^{※3} →精検受診率 78.3% 【目標80%】※4
- 大腸がん検診
- →精検結果把握率 77.6% 【目標90%】^{※3}
- 48.7% 【目標70%】※4 →精検受診率
- ・乳がん検診
- →精検結果把握率 83.6% 【目標90%】^{※3} 88.6% 【目標90%】※4 →精検受診率
- 子宮頸がん検診
- →精検結果把握率 84.5% 【目標90%】^{※3}
- 69.0% 【目標70%】※ →精検受診率
- ・肺がん検診
- →精検結果把握率 80.2% 【目標96%】※3 73.3% 【日標80%】※4 →精検曼診率

標準的な精検実施 精検受診率向上

·精度管理指標(陽性反応的中 度、要精検率、精検受診率、が ん発見率)を公報紙で公開してい る市町村数

→43市町村【目標43市町村】

中間評価時

部位別年齢調整死亡率 (大阪府、2009年)(人口10万対)

21.3 大腸 16.8 肺 29.8

乳房 6.5 子宮

各精度指標の把握

・地域がん登録資料との記録照合

により検診の精度管理を実施し、偽

陰性等を把握している市町村数、

→0市町村 【目標10市町村】

がん検診の偽陰性率を公開してい

→0市町村【目標10市町村】

適切な治療(医療の部へ)

→1機関 【目標 5機関】

委託検診実施機関数

る市町村数



•40-69歳の胃がん検診受診率[∞] →23.5% 【目標50%】

- 40-69歳の大腸がん検診受診率 →21.3% 【目標50%】
- ・40-69歳の乳がん検診受診率
- →18.3% 【目標50%】
- 20-69歳の子宮頸がん検診受診薬 →19.4% 【目標50%】
- ·早期診断の割合※6
- 工皮内がん+限局割合、2005年)
- 44.8% 【目標60%】 →胃
- →大腸 49.6% 【目標70%】 23.7% 【目標40%】 →肺
- →乳房 63.9% 【目標70%】
- 子宮頸部 68.5% 【目標70%】
- 検診発見かんの早期かんの割合※4
- →胃 54.9% 【目標60%】 →大腸 55.3% 【目標60%】
- →肺 28.7% 【目標50%】
- →乳房 49.8% 【目標50%】

→子宮 53.6% 【目標50%】

がん検診精度管理体制の確立

※1 平成14年度「地域がん登録」研究班 第9回がん患者進行度分布に関する協同調査 ※2 平成16年度国民生活基礎調査 ※3 老人保健事業報告(2003-2007)

※4 大阪府におけるがん検診 平成19年度版 ※5 平成19年度国民生活基礎調査 ※6 大阪府におけるがん登録第73報

4)がん医療の進捗状況

計画策定時

年齢調整死亡率 (大阪府、2005年) (人口10万対)

()(10))	1/	
全がん	156.	
食道	5.7	•
胃	23.0	i
大腸	17.9	
肝臓	21.7	•
胆のう	5.9	١
膵臓	9.8	
肺	31.1	
乳房	6.5	,
子宮	5.7	•
卵巣	4.3	
前立腺	8.0)
膀胱	2.2	
悪性リンパ	腫3.7	

受療の望ましい医療 機関数

(年間治療件数の多い医 療機関から順に件数を累 積し、治療を受けたすべて の患者の50%をカバーして いる多/中件数病院の機 関数。但し、胃・大腸・乳 がんでは75%で少件数病 院を含む。1994-98年)※

Br G D 6 1004	30 - 7
食道	9機関
胃	46機関
大腸	49機関
肝臓	18機関
胆のう	22機関
膵臓	19機関
肺	8機関
乳房	28機関
子宮	5機関
卵巣	12機関
前立腺	10機関
膀胱	9機関
悪性リンパ腫	13機関

がんによる死亡者の減少、患者のQOL 向上を目指したがん医療の推進

・がん診療連携拠点病院<国指定> 14施設 ・がん診療拠点病院<府指定> 36施設

・現況報告に基づいた診療機能を公表している 施設→すべての国/府指定がん拠点病院

・地域がん登録資料に基づいた、各がんの診療 数/生存率を公表している国/府指定がん拠点 ■ 病院の施設数(2011年1月)

0/ 0施設 胃がん 45/32施設 食道がん 大腸がん 45/32施設 肝がん 45/29施設 胆のうがん 0/ 0施設 膵がん 0 / 0施設 肺がん 48/17施設 乳がん 45/25施設 子宮がん 0/ 0施設 卵巣がん 0/0施設 前立腺がん 0/ 0施設 膀胱がん 0/9施設 悪性シンパ腫 0/ 0施設

放射線療法および化学療法の推進

各がんの放射線療法実施率(2003年→2005年) 咽頭がんの限局 78.0% → 76.7% 【参照60%】※2 声門がんの限局 84.7% → 79.3% 【参照75%】 声門上がんの限局 76.9% → 75.0% 【参照75%】

乳がんの限局 30.8% → 30.1% 【参照50%】 子宮頸がんの領域 77.5% → 74.7% 【参照85%】 前立腺がんの限局 6.2% → 11.5% 【参照40%】

・食道がんの放射線化学療法実施率 26.2%

大阪府における日本放射線腫瘍学会認定医数 (2011年1月)※3

→51人

均てん化: がん診療連携 拠点病院等 のカバー率※4の 増加

中間評価時

目標達成へのプロセス

年齢調整死亡率 (大阪府, 2009年) (人口10万対) 147.2 全がん 5.7 食道 21.3 16.8 大腸 肝臓 17.2 5.5 胆のう

膵臓 10.7 肺 29.8 6.5 乳房 子宮 5.4 4.1 卵巣 6.5 前立腺

2.2

4.2

膀胱 悪性リンパ腫

受療の望ましい医療機関のカバー率

(年間治療件数の多い医療機関から順位をつけ、上位から計画策定時の 「受療の望ましい医療機関数」までの医療機関におけるカバー率を算出。 標80%。2005年)

食道がん カバー率56.9% (年間治療件数 22件以上) 胃がん カバー率81.6% (年間治療件数 19件以上) 大腸がん カバー率81.9% (年間治療件数 21件以上) 肝がん カバー率58.4% (年間治療件数 28件以上) カバー率57.2% (年間治療件数 7件以上) 胆のうがん 膵がん カバー率56.5% (年間治療件数 12件以上) 肺がん カバー率46.2% (年間治療件数107件以上)

(注)肺がん<手術症例>では、カバー率54.4%、年間治療件数件34件以上 乳がん カバー率82.4% (年間治療件数 23件以上) 子宮がん カバー率54.4% (年間治療件数 78件以上) 卵巣がん カバー率63.4% (年間治療件数 10件以上) 前立腺がん カバー率55.4% (年間治療件数 27件以上) 膀胱がん カバー率41.3% (年間治療件数 27件以上)

悪性シパ腫 カバー率57.3% (年間治療件数 18件以上)

死亡率 減少割合 2.9%

全がん

資料:22ページ

B

部位別

死亡率

食道

大腸

肝臓

膵臓

乳房

子宮

卵巢

膀胱

リンパ

前立腺 8.3%

肺

胆のう

減少割合

1.8%

3.2%

4.3%

2.9%

2.5%

0.9%

2.6%

3.5%

8.8%

5.3%

4.7%

6.2%

プロセス評価

緩和ケアの充実

日本のモルヒネ、フェンタニル、オキシコドンの合計(100万人1日あたりモルヒネ |消費量換算、2004-06年→2005-09年) 69.1g →77.5g ※5

【目標 使用量の増加 (参照値 アメリカ 1403.4g → 1567.2g)】

- 国指定/府指定がん拠点病院における機能、診療従事者数(2010年)
- (1) 緩和ケア病棟を有する施設数→国指定1施設、府指定3施設
- (2) 緩和ケア病床数→国指定34病床、府指定109病床

(3)緩和ケアチームにおいて身体症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能 を有する専任医師数→国指定20人、府指定50人

(4)緩和ケアチームにおいて精神症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能 を有する医師数→国指定21人、府指定30人

(5)緩和ケアチームにおいて緩和ケアに携わる専門的な知識及び技能を有する 常勤の看護師数→国指定33人、府指定69人

在宅医療

・在宅死亡数、在宅死割合(がん死亡数に占める%、大阪府、2008年)※ →がん死亡者の在宅死亡数1,832人、在宅死割合8.2%

がん登録

- ・大阪府がん登録への届出件数(2007年→2009年)38.152件→62.660件
- ・大阪府がん登録の精度(2003年→2005年)

罹患/死亡比(ID比) 1.50→1.54

死亡情報のみの症例 DCO(%) 24.8%→13.4%

*1 loka A, Tsukuma H, Ajiki W et ai. Hospital procedure volume and survival of cancer patients in Osaka, Japan: a population-based study with latest cases. Jpg J Clin Oncol. 2007;37:544-53.

※2 NCI. SEER*Stat6.2.4.2006 ※3 日本放射線腫瘍学会ホームページ ※4 カバー率= ※6 大阪府におけるがん登録第73報

当該治療機関における治療件数

× 100 ※5 国際麻薬統制委員会(INCB)報告